

第5回人権賞 受賞者 野村かつ子（海外市民活動情報センター代表）

【受賞理由】

長年にわたり、国内外における消費者運動、環境保護運動に貢献。消費者運動を人権活動としてとらえ、海外市民活動の情報を収集し、国内で紹介するなどの取り組みに対して。

長年にわたり消費者・環境保護運動に貢献

長年にわたり消費者運動、環境保護運動に貢献。ラルフ・ネーダー氏の提唱した日米消費者問題比較プロジェクトの日本側代表となるなど、消費者運動の人権活動としてとらえ、海外の市民活動の情報を収集し、国内で紹介するなどの活動をしてきた。

1943年江東消費組合、1945年日本生活協同組合同盟および主婦連合会の創設に関与、1959年～1969年まで日本労働組合総評議会全国オルグとして労働者家族の組織化に努め、「総評主婦の会」を創設。1984年には国際消費者機構（IOCU）名誉顧問に就任。

また、1975年に「海外市民活動情報センター」を設立し、機関紙『海外の市民活動』発行（90号まで）等を通じて市民活動の普及・啓蒙に尽力した。

これら活動に対しては、「東弁人権賞」のほか、1990年の「市川房枝」基金援助賞、1993年の「農政ジャーナリストの会賞」、韓国「イルガ賞」などが贈られている。